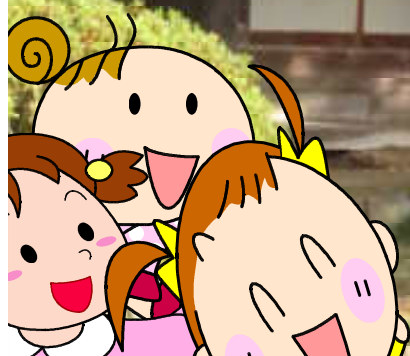


うしくでびっくり!

ぞく

せきぎやうりょう
だいかんしょう



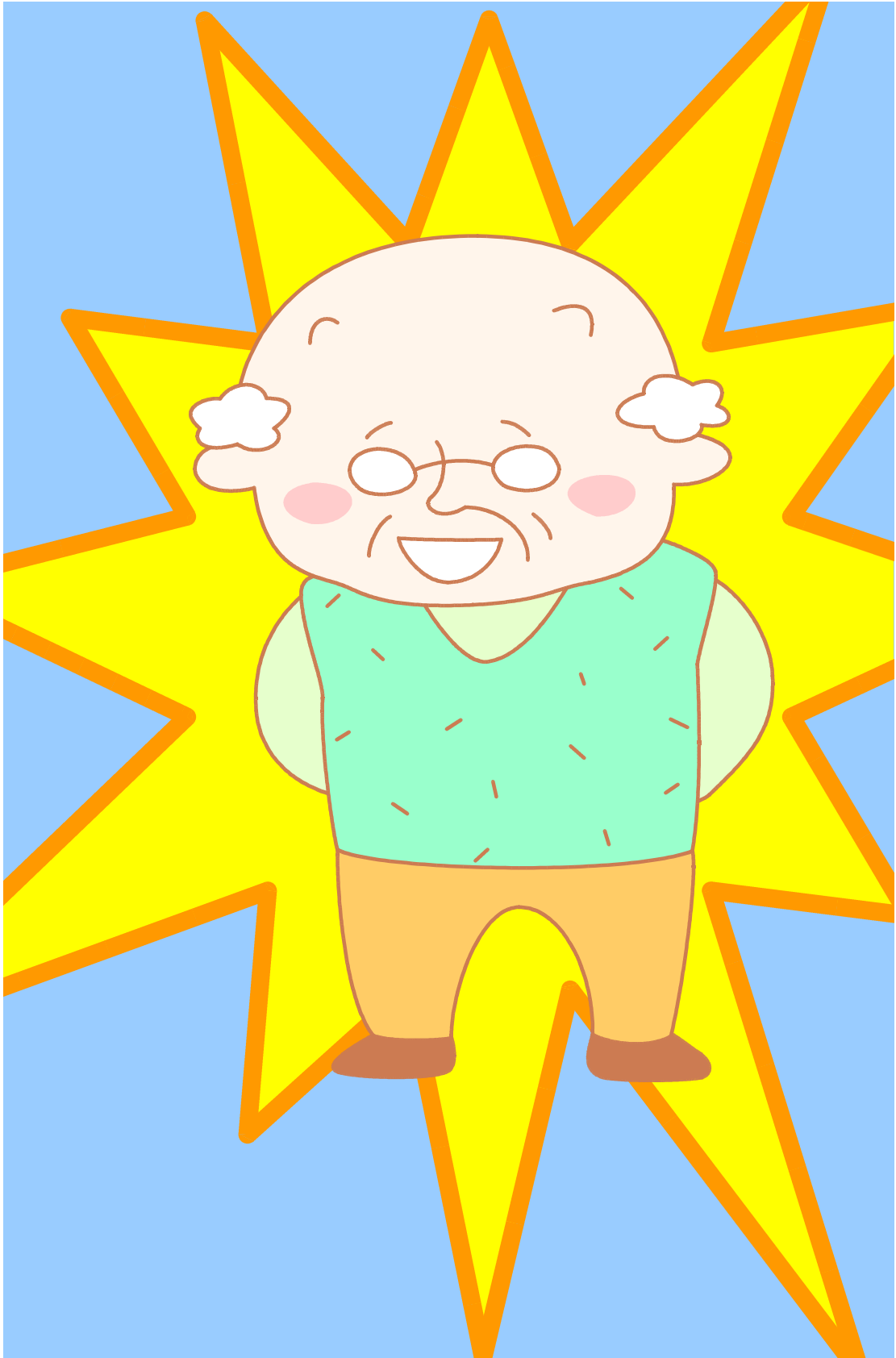
おくの地区社協
さく いいだあきお

なっちゃんが、がっこうからかえってくると

「まえにしらべたくのの
だいかんしょのなかをみ
せてもらえるかもしれない
よ。きいてみるか？」

と おじいちゃん。

※だいかんしょ：いまのしやくしょみたいな
ものかな。おくの ちからのあった「お
おしょうや」が、かねていたんだ。



なっちゃん。

びっくり!



さっそく、がっこうで
りりちゃんにはなすと

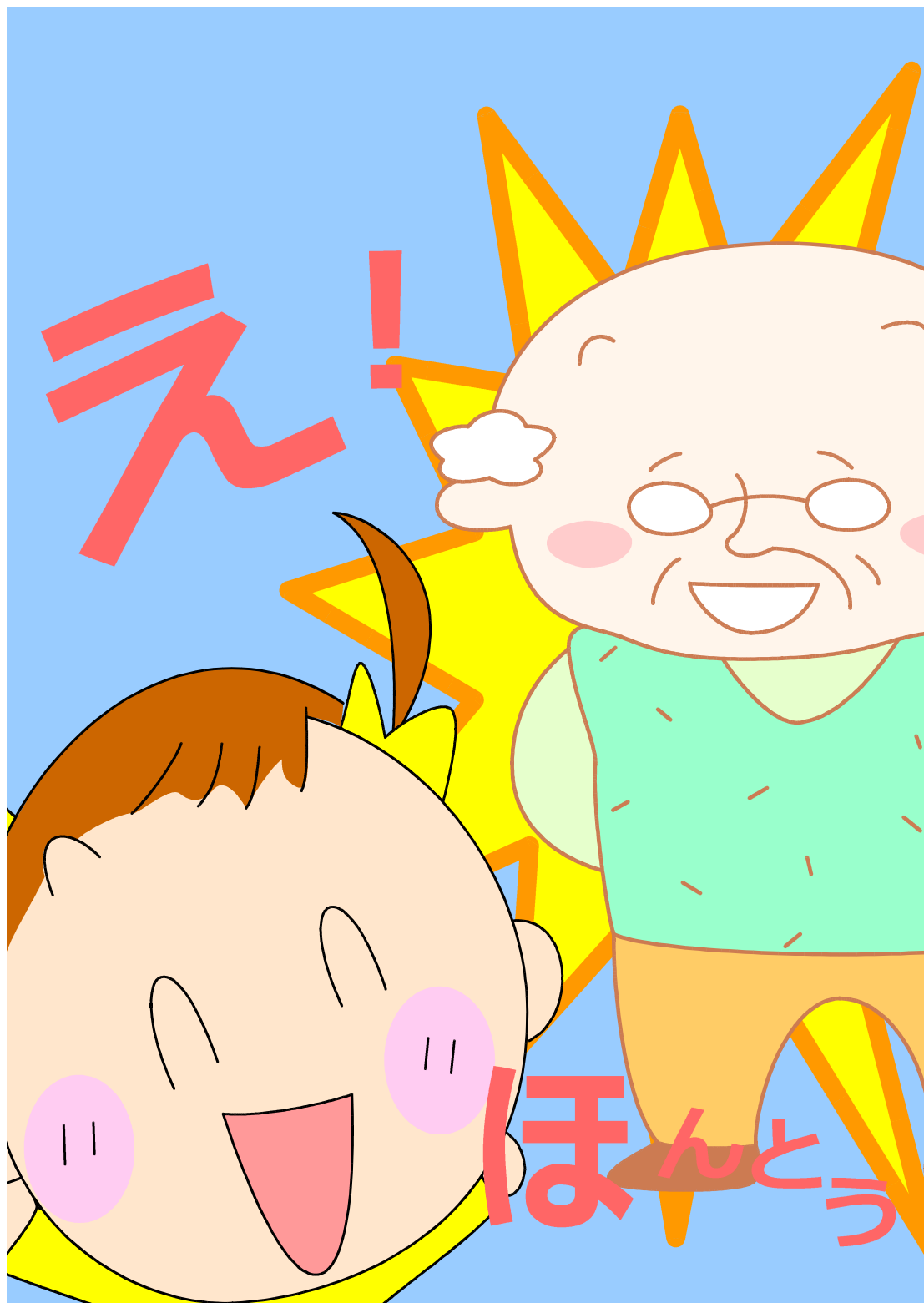


ららちゃんにはなすと



「よーし、おじいちゃん
におねがいしてみよう」

おじいちゃんに はなすと
「それならいっしょにいてみるか」



さっそく **もとはしさん**
にれんらくをとってくれ
た。

やくそくのひ、いっし
よに **だいかんしょ**あと
にいつてみた。

もとはしさんが、あんな
ないしてくれた。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜ
なぜくんが、もりからあそびにきたよ。ど
こかな？



わたしは、なぜなぜで一す。

むかし むかし

せきやどはんの どの
さまが、「ろうじゅう」（い
まのだいじんみたいなもの）にな
ったころ、くわえられた
りょうちが、「しだぐん」
（いまの**おくのちく**とい**な**し**き**しのい
ちぶ）だったそうだ。

そのとりまとめをして
いたのが、**く****の**にある**だ**
いかん**し****よ**なんじゃ」
と きちょうなしやしん
をみせてくれた。

これが、そのしゃしんだ。



せきやどりようだいかんしょ (おおしょうや) あと
「おとのさまのげんかん、まじよのぼうしみみたいだ」

そのころ **しだぐんり** よ
うでは、おのがわ、かつ
らがわ、おつとがわのま
わりで、たくさんのおこ
めが、つくられていたん
だ。

「じゃー、なかに はい
ってみようか」

と もとはしさん。

おじいちゃんは、よう
じがあって、かえってい
った。



げんかんをあがって、
そとをみると

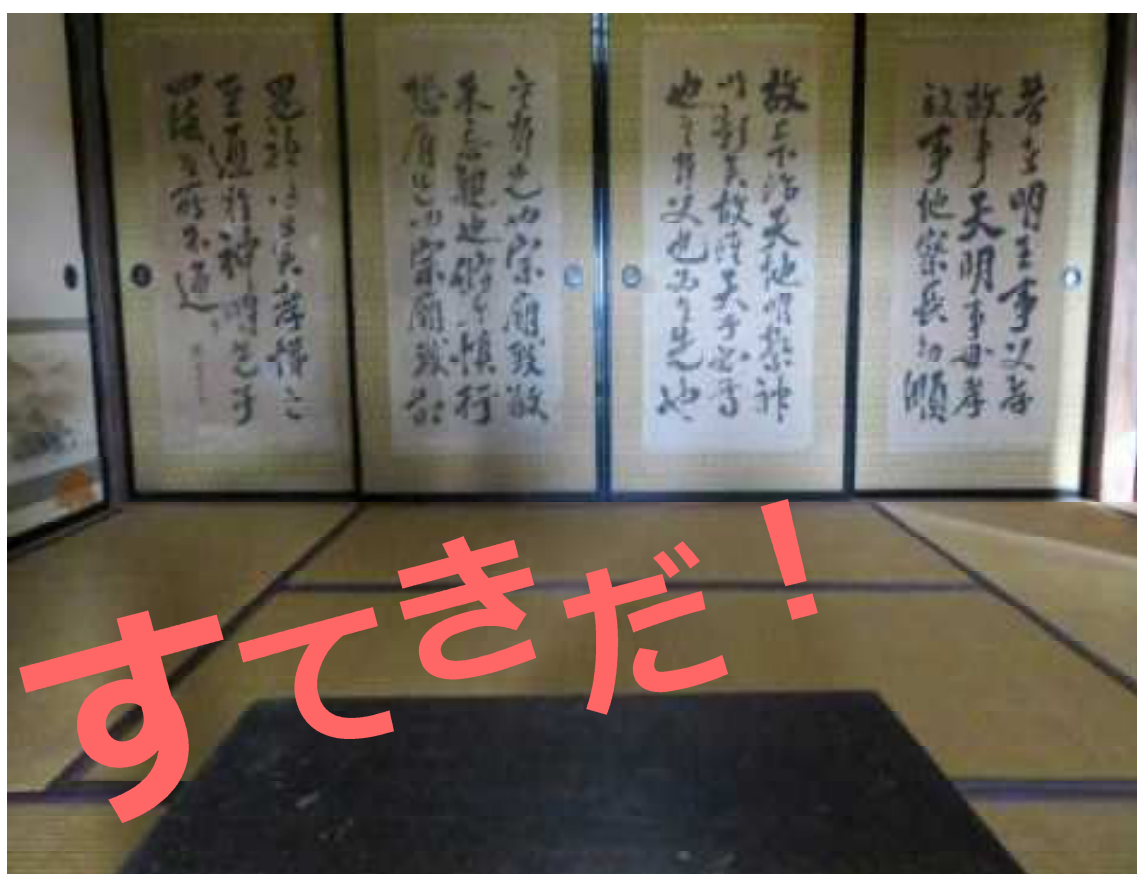


げんかん



きれいだな！

ふりかえって、ふすま
をみて**びっくり**！「この
ふすまは、おくの**おとの**
さまのへやのふすまをこ
こにもってきたんだよ。



なんて かいてあるかな？

ふすまをあけると



あれあれ？！

おきやくさんのよう
だ。

びっくり！

「あのへやが、**とのさま**の
へやだったんだ」

と　もとはしさん。ちいさ
なこえでおしえてくれた。

「おくが**とのさま**のへやだ」

「じゃー、ほかの3つのへ
やは、なんなの？」



「よく、きがついたね」
じつは、3つのへやには、
けらいたちがいたんだ
よ」

「どうして、けらいたち
が、ここに？」

「いいしつもんだね。じ
つは、とのさまをまもる
ためなんだよ」

おきやくさんもかえっ
たので・・・

とのさまのへやに は
いってみた。すると

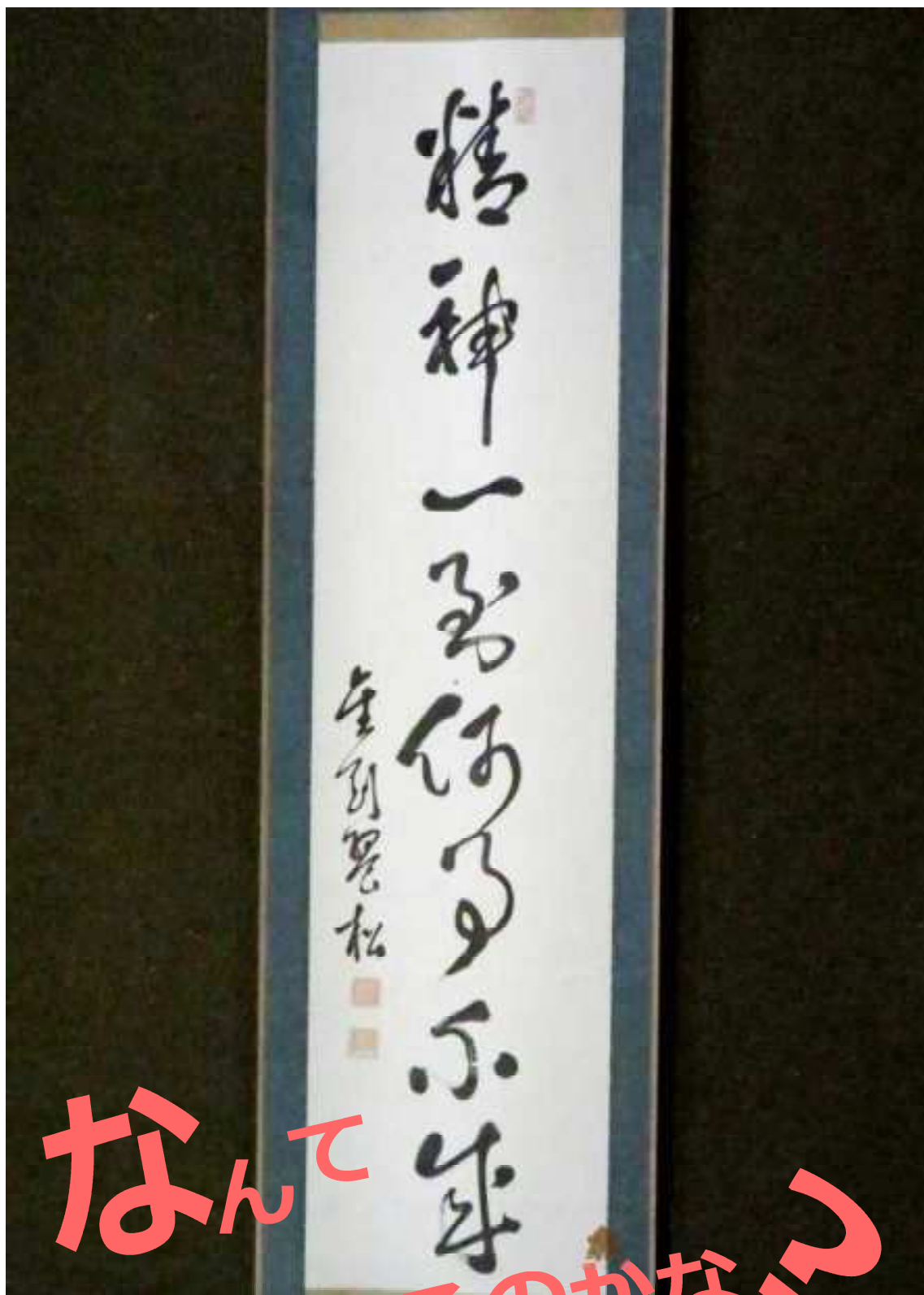


とのさまの
へやからげん
かんをみると
また



そのほか ここにある
おたからを みせてもら
った。
まず

かけしくだ。



なんて
かいてあるのかなん
じつは「精神^{せいしん}一到^{いっとう} 何事^{なにごと}か成らざらん」
とかいてあるんだよ

これは、なにに？



とららちゃん°

これはね。うまにのせ
たくらなんだよ。のって
ごらん。「わーい」とな
っちゃんおおよろこび。

「ぱかぱか」あそんでい
ると

「ころりん」ころんじゃ
った。びっくり！

そのときだったりりち
ゃんが、くらのうしろに
なにか、かいてあること
にきがついた。





かんぶん ねん がっ にち

「寛文4年10月日」と
かいてあるんだよ。

いまからやく360ね
んまえに つくられたん
だよ。

びっくり!



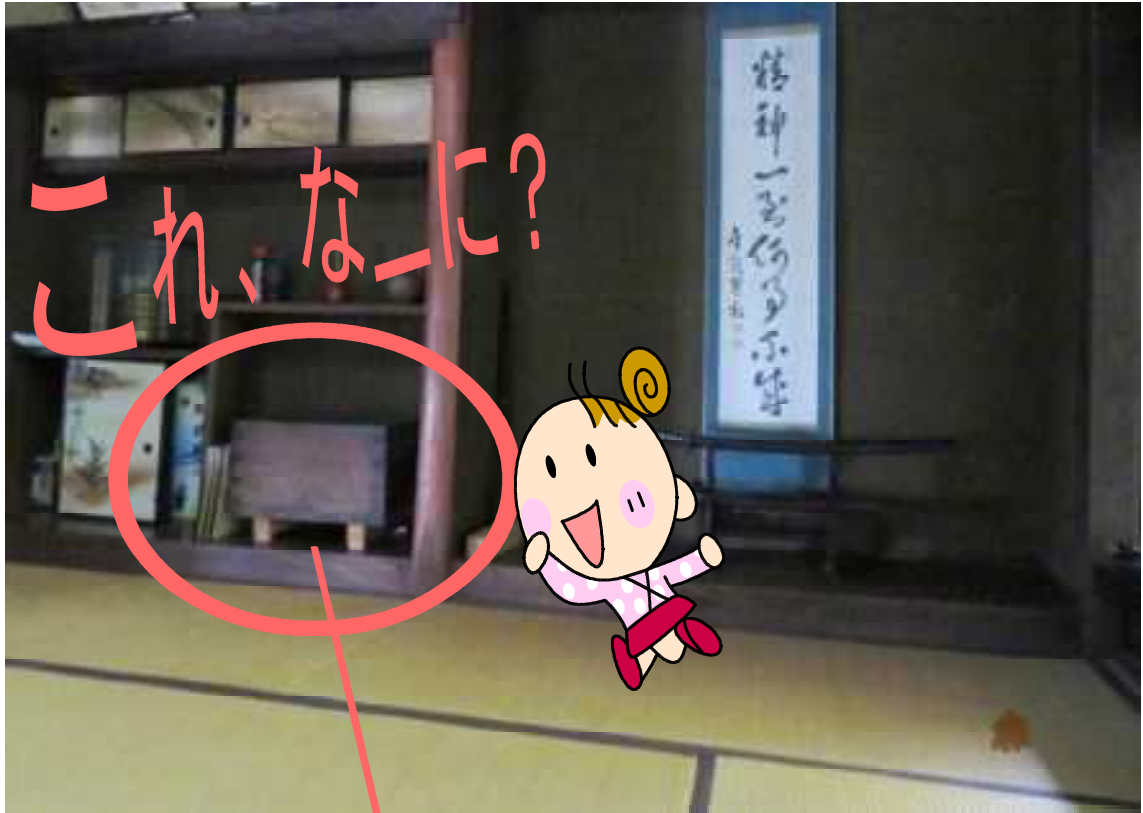
いろいろしらべてみたけど、**かおう**らしいんだが、はっきりわからなかったんだ。

「ん～ざんねん」





「ほんもの」と 言いたら
かざりものだとおしえてくれた



あれあれ、てんじょう
のかべに　こんなえが。



これはね。楠木正成（く
すのき　まさしげ）とむ
すこ正行（まさゆき）の
わかれのばめんなんだ
よ。

これ、なーに？



とうようだいがく いのうええんじょう しょ
東洋大学をつくった井上円了の 書だよ

これは？



だいかんしょあとをで
ると、こんなおおきな
ちゃぼひばがあつた。

びっくり!



ばくまつにかつやくし
た せきやどはんしゅ

くぜ ひろちか

久世 広周 が

ちいさいときに うえた
きた。

びっくり!

※ 久世広周は、老中（ろうじゅう）として、安藤信正（あんどうのぶまさ）ときょうりよくして、しょうぐん徳川家茂（とくがわいえもち）のつまに皇女和宮（こうじょかずのみや）をむかえることにちからをそそいだり、にほんのせいじをうごかしたひとりなんだ。

「え！　こんなにたくさんのおたからが、あったんだ」

と　みんな・・・。

びっくり！

りりちゃんと ららち
やんが、

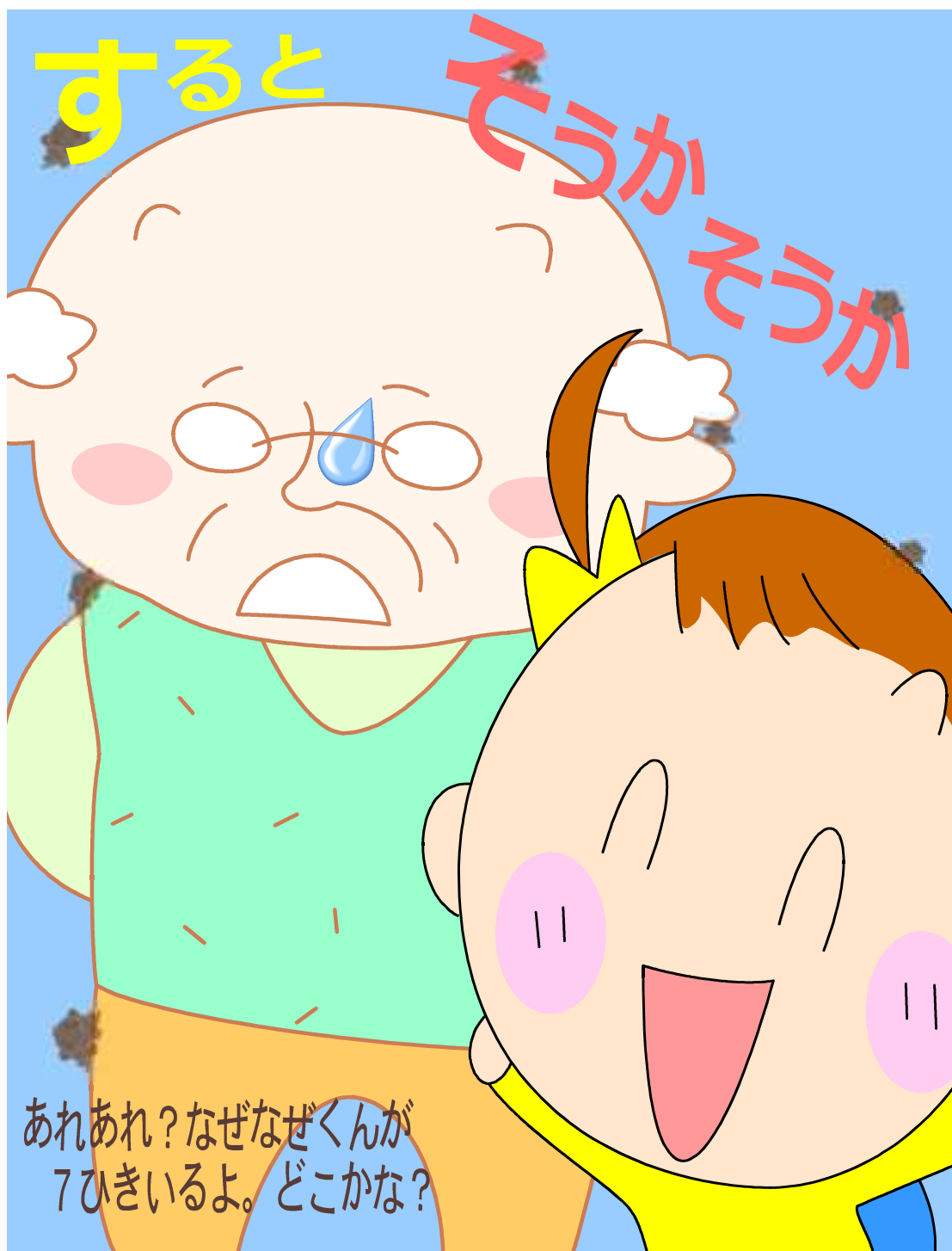
「そうか、そうか。すご
ーい」

と うれしそうにかえっ
ていった。なっちゃんも

「はやく、おじいちゃん
に おしえてあげなくち
や」

と はしりだした。

おうちにかえった、な
っちゃん。おじいちゃん
に おしえてあげたよ。



と めになみだを うか
べて、よろこんでくれた。

こうして、さんにんは、
おくののたからものをさ
いはっけんすることがで
きた。そして、しらべる
たのしさも、わかったの
だった。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。

またね